

# 校長室だより



令和6年1月19日

No.27

「最強寒波」今年もこの言葉が出てくる時期となりました。まさに明日1月20日は一年のうちで最も寒いと言われる「大寒」にあたります。最強、大寒、冬将軍…冬の寒さにまつわる言葉ってなんだか怖そうですね。それだけ人々が「寒さには勝てない」という困った気持ちが表れているようです。

その寒さにやられたのかどうか、前回の校長室だよりに「ワクチンも打って準備万端」みたいなことを書いていた私だったのですが…。日曜日の朝からなんだかだるい…少し胃のあたりが重いような…。昼頃にはとうとう熱が37℃、38℃と上がり出して、こりゃだめだ…熱で寝込むなんて久しぶりのことです。ここ数年のコロナはおろか、毎年のインフルエンザも無関係。記憶をたどると7年前の4月を最後に、発熱で寝込むことなんてなかったんですが…。コロナ？インフル？感染性胃腸炎？なんだろう…。

で、翌日、かかりつけのお医者さんの「発熱外来」を予約して、検査してもらいました。一般の患者さんへの感染予防のため、受付から検査、診察まで隔離状態。いつもの看護師さんやお医者さんもビニール袋みたいな予防衣（って言うのかな）で、こちらとしては逆に構えてしまうほど。使った体温計も「感染物入れ」とシールが貼ってあるケースに入れられたのはびっくりでしたが、コロナ以降のマニュアルに則った感染対策でしょうし、間違いはないと思います。（でも、気分としては「なんだから～」ではありますが…）綿棒で鼻の奥をぐじゅぐじゅされた検査の結果、コロナでもインフルエンザでもなく、「今時珍しいただの風邪」ということで、まあ、ある意味、一安心。結局、大事をとって火曜日までお休みをいただき水曜日から学校に出ることができました。

幸いにして（？）今回は厄介な感染症ではなかったものの、時期的にもいろいろな心配がありますね。ほんごうではコロナ、インフルエンザともに1月に入って数人、感染の報告はありましたが、流行状態にはなっていないようです。他の学校では（その学校の先生いわく）「同時多発テロ的に」あちこちのクラスで突然、流行状態となり、慌てているなんていうケースもあるようです。また、横浜市の集計データによると、先週の定点当たり報告数でインフルエンザが10.31人、コロナが4.73人となっており、その前の週よりは増えている（とは言え、お正月休みもありましたので…）ものの、大きな流行の波はまだ来ていないようです。でも、やっぱりこの時期は用心第一。手洗い、換気、必要に応じたマスクなど、基本的な感染症予防はしっかりやっていきましょう。はい（反省）。

1月24日（水）～28日（日）横浜市民ギャラリー（西区宮崎町）において、横浜国立学校総合文化祭「つたえたい ぼくのきもち わたしのおもい 作品展」が開催され、ほんごうはじめ市内特別支援学校、個別支援学級、通級指導教室の子どもたちの力作が展示されます。お近くにお越しの方はどうぞお立ち寄りください。

総合文化祭マスコットキャラクターCAPY

